

平成24年度 兵庫医療大学 学位授与式

平成25年3月10日、ポートピアホテルにおいて兵庫医療大学学位授与式が執り行われました。

薬学部は今年が1期生の学位授与式となり、3学部揃って初めての式となりました。

薬学部医療薬学科125名、看護学部看護学科108名、リハビリテーション学部理学療法学科43名、作業療法学科44名、計320名が卒業の日を迎え、これから医療人としてそれぞれに活躍していく卒業生に、松田学長よりエールが送られました。



各賞受賞者

【学長賞】
優秀な成績を収め、卒業した学生に贈られます。
【課外活動功労賞】
課外活動において特に顕著な成果をあげた学生に贈られます。
【理事長特別賞】
学業成績が優秀かつ課外活動にも特に功績があった学生に贈られます。

薬学部医療薬学科



学長賞
高橋 淑恵さん



理事長特別賞
宇廻 祐輔さん



課外活動功労賞
竹内 志織さん(左)、三宅 咲奈さん(右)

看護学部看護学科



学長賞
坂田 茜さん



課外活動功労賞
野間 洸佑さん

リハビリテーション学部理学療法学科



学長賞・課外活動功労賞
谷岡 慎さん

リハビリテーション学部作業療法学科



学長賞
高松 美佳さん



課外活動功労賞
毛利 綾乃さん

国家試験結果

第98回 薬剤師国家試験

試験日：平成25年3月2・3日 発表日：平成25年3月29日

区分	新卒		
	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	125名	81名	64.8%
全国(6年制)	10,557名	8,826名	83.6%

第99回 保健師国家試験

試験日：平成25年2月15日 発表日：平成25年3月25日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	106名	102名	96.2%	5名	4名	80.0%
【参考】本学昨年度	94名	89名	94.7%	10名	5名	50.0%
全国	15,136名	14,751名	97.5%	1,284名	1,013名	78.9%

第48回 理学療法士国家試験

試験日：平成25年2月24・25日 発表日：平成25年3月29日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	43名	42名	97.7%	—	—	—
【参考】本学昨年度	31名	31名	100.0%	2名	2名	100.0%
全国(新卒+既卒)	11,391名	10,104名	88.7%	—	—	—

第102回 看護師国家試験

試験日：平成25年2月17日 発表日：平成25年3月25日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	106名	106名	100.0%	1名	1名	100.0%
【参考】本学昨年度	94名	93名	98.9%	—	—	—
全国	51,458名	48,413名	94.1%	5,072名	1,811名	35.7%

第96回 助産師国家試験

試験日：平成25年2月14日 発表日：平成25年3月25日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	8名	8名	100.0%	1名	1名	100.0%
【参考】本学昨年度	8名	7名	87.5%	—	—	—
全国	2,010名	1,987名	98.9%	103名	85名	82.5%

第48回 作業療法士国家試験

試験日：平成25年2月24・25日 発表日：平成25年3月29日

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医療大学	44名	43名	97.7%	2名	1名	50.0%
【参考】本学昨年度	37名	35名	94.6%	2名	2名	100.0%
全国(新卒+既卒)	5,279名	4,079名	77.3%	—	—	—

平成24年度 卒業生 就職実績

平成24年度 兵庫医療大学卒業生の就職先について速報にてお知らせします。

		薬学部	看護学部		リハビリテーション学部			
		医療薬学科	看護学科		理学療法学科		作業療法学科	
平成25年4月4日現在		24年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度
卒業者数		125名	108名	94名	43名	31名	44名	37名
内 訳	就職者数	85名	106名	91名	41名※	31名	43名	35名※
	進学者数	1名	2名	0名	2名※	0名	0名	1名※
	その他	39名	0名	3名	1名	0名	1名	2名

※就職し、且つ大学院にも進学した1名をそれぞれに計上

就職先一覧

【薬学部 医療薬学科】

病院薬剤師

兵庫医科大学病院
兵庫医科大学ささやま医療センター
京都大学医学部附属病院
JA愛知厚生連 渥美病院
JA三重厚生連 松阪中央総合病院
医療法人栄昌会 吉田病院
医療法人岡田病院
医療法人協和会 千里中央病院
医療法人社団甲友会 西宮協立脳神経外科病院
医療法人清恵会病院
医療法人それいゆ会 こだま病院
医療法人良寿会 高石藤井病院
医療法人讃和会 友愛会病院
関西医科大学付属 枚方病院
神戸低侵襲がん医療センター
公立神崎総合病院
国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院
社会医療法人愛仁会 千船病院
社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷淡路病院
市立枚方病院
特定医療法人三栄会 ツカザキ病院
独立行政法人国立病院機構 宇多野病院
独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター
独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター
医療法人沖縄徳洲会 高砂西部病院
医療法人晋真会 ベリタス病院
国家公務員共済組合連合会 大手前病院
特定医療法人中央会 尼崎中央病院

調剤薬局・ドラッグストア

イオンリテール株式会社
株式会社アインファーマシーズ
株式会社アルカ
ウェルシア関西株式会社
株式会社オーバス
株式会社ザグザグ
株式会社ハリマ調剤薬局
株式会社阪神調剤薬局
株式会社メディカルジャパン
株式会社ユーアイファーマシー
株式会社ライフオート
クオール株式会社
クラフト株式会社
セガミメディクス株式会社
総合メディカル株式会社
タキヤ株式会社
日本調剤株式会社
ファルメディコ株式会社
有限会社イクシファーマシー
有限会社尚生薬局
有限会社まつえファーマシーグリーン調剤薬局
株式会社クリエイト エス・ディー
株式会社ハーティーウォンツ

保健師

湧永製薬株式会社
株式会社アスモット
株式会社イービーミント
株式会社リニカル
藤本製薬株式会社
鶴原製薬株式会社
ニプロファーマ株式会社

【看護学部 看護学科】

看護師・助産師

兵庫医科大学病院
兵庫医科大学ささやま医療センター
大阪大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
関西医科大学附属枚方病院
独立行政法人 国立国際医療研究センター
独立行政法人労働者健康福祉機構 関西ろうさい病院
地方独立行政法人 神戸市民病院機構
兵庫県立こども病院
兵庫県立塚口病院
兵庫県立光風病院
富山県立中央病院
大阪市立総合医療センター
市立池田病院
岸和田市民病院
公立豊岡病院組合
公立学校共済組合 近畿中央病院
公立学校共済組合 関東中央病院
財団法人神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター
財団法人田附興風会医学研究所 北野病院
宗教法人在日本南ブレスピテリアンミッション 淀川キリスト教病院
聖路加国際病院
社会医療法人愛仁会 高槻病院
医療法人社団神鋼会 神鋼病院
特定医療法人中央会 尼崎中央病院
社団医療法人 製鉄記念広畑病院

保健師

尼崎市
宝塚市
大東市

【リハビリテーション学部 理学療法学科】

兵庫医科大学病院
近畿大学医学部堺病院
箕面市立病院
市立奈良病院
市立福知山市民病院
財団法人神戸マリナース厚生会 ポートアイランド病院
財団法人神戸在宅ケア研究所 神戸リハビリテーション病院
一般財団法人京都地域医療学際研究所 がくさい病院
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院
社団法人全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会泉尾病院
関西電力病院
医療法人明倫会 宮地病院
医療法人栄昌会 吉田病院附属脳血管研究所
医療法人協和会 第二協立病院
医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院
医療法人社団甲友会 西宮協立リハビリテーション病院
医療法人康雄会 西記ポートアイランドリハビリテーション病院
医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院

社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺心臓・血管センター
医療法人伯鳳会 明石リハビリテーション病院
医療法人朗源会 おおくまセントラル病院
特定医療法人社団順心会 幸生リハビリテーション病院
医療法人仁寿会 石川病院
社会医療法人協和会 北大阪病院
社会医療法人愛仁会 千船病院
医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院
医療法人春秋会 城山病院
医療法人盈進会 岸和田盈進会病院
医療法人Nクリニック
あんしん病院
社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院

【リハビリテーション学部 作業療法学科】

地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
医療法人明倫会 宮地病院
医療法人栄昌会 吉田病院附属脳血管研究所
特定医療法人三栄会 ツカザキ病院
特定医療法人三栄会 ツカザキ記念病院
医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院
医療法人康雄会 西記ポートアイランドリハビリテーション病院
医療法人中央会 尼崎中央病院
医療法人晋真会 ベリタス病院
特定医療法人社団順心会 幸生リハビリテーション病院
特定医療法人社団順心会 順心病院
医療法人社団仁恵会 石井病院
医療法人関田会 とぎわ病院
医療法人敬性会 白鷺サナトリウム
医療法人寿栄会 有馬高原病院
医療法人社団向陽会 向陽病院
社団法人全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院
医療法人協和会 千里中央病院
医療法人協和会 協和マリナホスビタル
社会医療法人協和会 加納総合病院
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津病院
医療法人交詢会 大阪リハビリテーション病院
医療法人社団松下会 東生駒病院
医療法人永和会 こころあ病院
医療法人栄仁会 宇治おつばく病院
社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団 かがわ総合リハビリテーションセンターかがわ総合リハビリテーション病院
財団法人永頼会 松山市民病院
呉医師会病院
医療法人積善会 猪原病院
公益財団法人ひょうご子ども家庭福祉財団 子ども発達支援センター
医療法人社団豊寿会 介護老人保健施設高嶺の郷
医療法人達磨会 東加古川病院

順不同

平成25年度 兵庫医療大学 入学式

平成25年度4月5日、ポートピアホテルにおいて平成25年度兵庫医療大学入学式が執り行われ、薬学部171名、看護学部108名、リハビリテーション学部90名(理学療法学科44名、作業療法学科46名)の合計369名が入学しました。

馬場 明道 新学長による入学許可宣言の後、新入生代表が入学宣誓を行いました。次いで、兵庫医科大学中西学長祝辞、祝詞・祝電披露、ご来賓の紹介、校歌斉唱が行われました。

新入生たちは、真剣なまなざしで式にのぞみ、多数の保護者にも見守られながら大学生としての歩みをスタートさせました。

式の後には保護者の方々を対象とした説明会が開催されるとともに、新入生は午後から兵庫医療大学にて新入生オリエンテーションに参加し、学生生活に関することについて説明を受け、大学生活がスタートしました。



平成25年度 兵庫医療大学 入学試験結果

一般入学試験

前期A日程 試験期日：平成25年2月1日
合格者発表：平成25年2月8日

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	35名	221名	216名	61名	3.5倍
看護学部 看護学科	57名	568名	555名	119名	4.7倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	20名	185名	182名	40名	4.6倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	13名	67名	65名	26名	2.5倍

前期B日程 試験期日：平成25年2月2日
合格者発表：平成25年2月8日

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	25名	151名	150名	35名	4.3倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	6名	115名	115名	9名	12.8倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	8名	62名	62名	14名	4.4倍

大学入試センター試験利用入学試験

前期日程 合格者発表：平成25年2月8日

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	5名	55名	54名	20名	2.7倍
看護学部 看護学科	5名	72名	72名	10名	7.2倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	2名	61名	60名	6名	10.0倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	2名	18名	18名	5名	3.6倍

前期C日程 試験期日：平成25年2月17日
合格者発表：平成25年2月22日

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	15名	116名	109名	30名	3.6倍

後期日程 試験期日：平成25年3月2日
合格者発表：平成25年3月8日

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	10名	125名	120名	10名	12.0倍
看護学部 看護学科	5名	91名	86名	12名	7.2倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	2名	34名	34名	3名	11.3倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	2名	12名	12名	3名	4.0倍

後期日程 合格者発表：平成25年3月27日

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	5名	16名	15名	5名	3.0倍
看護学部 看護学科	3名	18名	18名	3名	6.0倍

兵庫医療大学 大学院 学位授与式・入学式

平成25年3月10日ポートピアホテルにおいて、平成25年度兵庫医療大学学位授与式が執り行われ、大学院の1期生である看護学研究科6名、医療科学研究科8名が卒業しました。

学部と合同の学位授与式の後、大学院の学位授与式が行われ、松田学長から一人一人に学位記が手渡されました。



平成25年4月5日ポートピアホテルにおいて、平成25年度兵庫医療大学入学式が執り行われ、看護学研究科8名、医療科学研究科8名、そして薬学研究科1期生3名がそれぞれ入学しました。



平成25年度 大学院入学者

薬学研究科	研究指導科目分野		指導教員	人数
	臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学		東純一	1
	分子循環器病治療学		辻野健	1
	創薬化学		田中明人	1
	合計 3名			

医療科学研究科	分野	コース	指導教員	人数
	病態運動学分野	運動器障害	藤岡宏幸、川口浩太郎、坂口顕	4
		内部障害	玉木彰	4
		合計 8名		

看護学研究科	分野	特定分野	指導教員	人数
	基礎看護	看護教育学	竹田千佐子	2
		基礎看護学	土田敏恵	1
	療養看護	急性看護学	網島ひづる	2
	家族支援	母性看護学・助産学	鈴井江三子	1
	生活支援	老年看護学	細見明代	1
合計 8名				

兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター 合同病院説明会



平成25年2月8日、M112講義室において看護学部3年生を対象にした「兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター合同病院説明会」を開催しました。

説明会では両病院より、病院概要のほか平成26年春の採用に向けた応募方法や採用試験、職場見学等の説明が行われました。

兵庫医科大学病院からは配属状況や教育・研修・サポート体制など、入職の決め手となる具体的な情報を聞くことができました。

また、兵庫医科大学ささやま医療センターからは、DVD映像なども流され、地域医療の第一線を支える同病院の現状について分かりやすく説明がありました。

後半には「先輩ナースとディスカッション」と題し、兵庫医科大学病院より6病棟6名(NICU・救命救急センター・内科系・外科系・産科・混合病棟)と、ささやま医療センター手術室より1名、計7名の本学を卒業した先輩ナースにお越しいただき、学生との対談が行われました。学生からの質問に先輩方は的確に丁寧に答えて下さいました。

職場の雰囲気や休みのことなど、普段は聞きにくいことも直接聞くことができ、学生は不安や疑問が解消され、これからの就職活動の参考になる有意義な説明会となったのではないのでしょうか。



■ 兵庫医療大学副学長就任挨拶 〈4月1日就任〉



薬学部
前田 初男

前兵庫医療大学長・松田 暉先生の下、平成21年4月から4年間入試センター長を務めさせていただいた後、今年度から学長を務められる馬場 明道先生を支援すべく、入試・広報と研究を担当する副学長を拝命致しました。

平成19年4月に兵庫医療大学に薬学部教授とし

て着任して以来、「みえる化」(バイオイメーシング)と「ユニバーサルデザイン (UD)」をテーマに教育研究に取り組んできました。それらは、兵庫医療大学のブランディングにおいても重要なキーワードになるでしょう。兵庫医科大学とともに兵庫医療大学が担う医療教育研究機関としての先端的ファンクションをできるだけ多くの受験生に分かりやすく伝え、受験生のエモーションにも訴求する。これを実現するために創意工夫していく所存です。

馬場新学長が描く「兵庫医療大学 2.0」へのバージョンアップを目指して、「みえる化」と「UD」を胸に、副学長としての職責を全うさせていただきます。どうぞ皆さまにはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 薬学部長・大学院薬学研究科長就任挨拶

〈薬学部長 2月1日就任、大学院薬学研究科長 4月1日就任〉



薬学部
西山 信好

平成25年2月より兵庫医療大学薬学部長を、同年4月より大学院薬学研究科長を拝命しております。

昭和57年に東京大学薬学部を卒業後、同大学院薬学系研究科修士、博士課程を修了し、同研究科にて助手、助教授を務め、主に神経薬理学分野の研究・教育活動に従事してまいりました。平成18年

1月より兵庫医科大学大学設置準備室主幹(同大医学部客員教授併任)として兵庫医療大学薬学部の設置に係る作業を担当致しました。平成19年4月より薬学部教授として薬理学分野の教育・研究を担当するとともに、大学・学部運営業務としては教育(教務)委員会副委員長、薬学部学部長補佐等を務めてまいりました。

薬学部は今年3月に初めての卒業者を輩出し、薬学研究科は4月に初めての博士課程大学院生を受け入れたところですので、安定的な運営に向けて薬学部の全教員で全力を尽くしたい所存です。皆様方には今後もこれまで以上の暖かいご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

■ 大学院医療科学研究科長就任挨拶 〈4月1日就任〉



リハビリテーション学部
藤岡 宏幸

平成25年4月より兵庫医療大学大学院医療科学研究科長を拝命しています。平成23年4月より開設された本研究科では、理学療法士、作業療法士、言語療法士などの資格を有してリハビリテーションの診療現場で活躍される方々が、さらに高度な専門知識ならびに技術を修得し、専門分野の発展に貢献

することを目標にしています。

研究分野には病態運動学分野(運動器障害、内部障害、神経障害の3領域)と人間活動科学分野(身体・認知活動、精神活動、摂食嚥下障害の3領域)があり、平成25年3月には、第1期生全員8名を修士(医療科学)として送り出すことができました。

私はリハビリテーション学部長も兼任させていただいていますので、学部での理学療法士・作業療法士の育成と医療科学研究科での医療専門職者の学術研究活動がうまく連携できるようにしたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 大学院看護学研究科長就任挨拶 〈4月1日就任〉



看護学部
網島 ひづる

このたび看護学研究科長を拝命致しました。看護学研究科は「看護学基礎研究」と「看護学課題研究・高度実践(専門看護師)」の2領域を設け、看護学の専門的知識と技術に立脚し、創造的かつ科学的に看護実践ができる人材ならびに教育・研究に携わる人材育成を目指して教育に努めて参りました。このたび研究科修了生を送り出し完成年度を迎えました。修

了生は臨床及び教育の場で、研究科で培った教育・研究、実践能力を発揮してくれると確信しています。また、昨年に、当研究科の看護学共通科目および急性看護学の専門分野が、日本看護系大学協議会から専門看護師、急性・重症患者看護領域の教育課程として認定されました。今後は、認定領域の追加、38単位教育課程申請へと高度実践看護師教育の充実・発展に努めたいと思います。

そして、これまでの看護学研究科の教育を自己点検・評価し、よりいっそう魅力ある大学院教育を目指して教育の充実をはかると共に、兵庫医科大学および兵庫医科大学病院のご協力を賜りながら、高度な専門性と実践力を発揮できる人材育成に取り組む所存でございます。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 図書館長就任挨拶 〈4月1日就任〉



共通教育センター
末廣 謙

この度、兵庫医療大学開学時から2年間務めた図書館長を再度拝命致しました。大学完成年度が過ぎた今、図書館も前回就任時に比べ蔵書数は格段に充実し、学内外利用者数も確実に増加しております。またネットワーク上でのサービス提供という観点

からも、これまでの電子ジャーナルに加えて、新たに電子ブックの導入、図書館システムのリプレイスも行われています。

図書館の使命として、図書を閲覧する最良の環境を提供することも重要であると考えております。閲覧座席数は増設され、平成24年にはブラウジングゾーンが改修されより使いやすい環境ができております。しかし付設するグループ学習室のより効率的な運用や学生自習スペースの充実、また書架の整備など今後の問題点もいくつか残されております。

鋭意改善を進めて参る所存ですので、今後とも、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 学生部長就任挨拶 〈4月1日就任〉



看護学部
新井 信之

本年度より前任者の藤田 幸久先生の後を受けて兵庫医療大学学生部長を拝命致しました。平成20年度に着任してから学生委員会、キャリアデザインセンター、及び教育委員会の委員として、社会貢献できる医療専門職者の育成を念頭に、学部教育に努めてまいりました。

医療系大学は学ぶべき専門知識と技術が多く、定められた教育を修めるには人一倍の努力が学生自身に求められています。一方、教職員と学生のふれあい、クラブ活動、ボランティア活動などを通して、道徳観、責任感などの高い倫理性や、行動力、協調性など、社会人として必要な基本的能力を身につけることも大切であると考えております。

薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の連携をより深めることで学生生活を支え、また学部毎の特徴や個々の学生の個性を大切に、学生生活の充実をはかる「学生中心の大学」に向けて、微力ながら貢献したいと思っております。皆様のご鞭撻、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

■教務部長就任挨拶〈4月1日就任〉



リハビリテーション学部
川口 浩太郎

このたび末廣 謙前教務部長の後任として教務部長を拝命いたしました。

平成24年度末には薬学部も卒業生を送り出し、大学設置時のカリキュラムがすべて完成を迎えました。一方で、今まで行ってきた6年間の兵庫医療

大学での学部教育の信を問われることとなりますが、平成25年度には「学士力の向上」を目指した全学的な取り組みとして、基礎教育の大幅なカリキュラム改訂が行われます。

兵庫医療大学に入学してくる学生は、「薬剤師、看護師、作業療法士、理学療法士になる」と明確な目的を持って入学してくる学生です。末廣謙前教務部長の下で教育委員として活動してきた経験を基に、入学してきた学生や在校生が、自分たちの目的を達成できるようカリキュラムを含む教育環境を整えると同時に、教員が教育しやすい環境を整えることができるよう努力していきたいと考えています。

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

■入試センター長就任挨拶〈4月1日就任〉



リハビリテーション学部
日高 正巳

本年度4月1日付けで、兵庫医療大学入試センター長を拝命いたしました。

私立大学において、社会に有用な人材を輩出していくための入り口として、入試はきわめて重要な業務です。兵庫医療大学においても開学以来、種々の入試を

実施し、歩留まり状況を勘案し、入学定員の確保に努めてきました。18歳人口の減少もあり、アドミッションポリシーに即した入学生の確保のために、取り組むべき課題が山積しています。一例として、高等学校の新学習指導要領に沿った入試改革、受験生確保を目指した地方入試の導入の検討などがあげられます。教職員の知恵を結集し一つ一つ取り組んで参りたいと考えています。また、入学試験はミスなく実施して当たり前という業務ですが、この実現には、本学のスローガンでもある「チーム医療」のごとく、教職員一丸となって、注意深く取り組んでいくことが不可欠です。よりよい入試運営となりますよう尽力して参りますので、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

■第3回 薬学部就職・実務実習合同説明会

平成25年3月7日・8日、M112講義室等にて「第3回薬学部就職・実務実習合同説明会」が開催されました。薬学部4年次生を対象とした同イベントは、全国的に就職が未だ厳しい状況にあるなかで、社会へ出ていくにあたり必要な心がけやマナーを学びながら自分自身のキャリアについて考えるとともに、5年次から始まる病院・薬局への実務実習に備えた説明会を2日間にわたって実施したものです。

1日目は、薬学部の担当教員による就職活動の概説や実務実習案内、そして兵庫医科大学病院薬剤部長による病院薬剤師についての講演等が行われ、2日目は製薬企業や調剤薬局、CRO、SMO関係の企業説明会等がグループ毎に行われました。企業説明会では、予め下調べして不明であった内容を講師の方に質問するという熱心な学生の姿も見受けられるなど、参加者は有意義な時間を過ごしました。



■大学基準に適合と認定 ～大学基準協会からの大学認証評価結果について～



大学は、全学的な教育研究等の状況について、文部科学大臣の認定を受けた評価機関による評価を7年に一度、受審することが義務付けられています。

2007年に開学した本学は、その当初より中期事業計画に基づく年度事業計画を履行し、PDCAサイクルのスパイラルアップを自己点検・評価委員会で検証しながら、大学の管理運営を推進してまいりました。

2010年度に看護学部とリハビリテーション学部が完成年度を迎えた段階で、また、6年制薬学部の完成年までに適合認定を受けられるように、本学は財団法人大学基準協会による認証評価の受審を決定し、大学評価の申請をいたしました。

認証評価受審に向けては、全学を挙げて約2年にわたって開学から歩んできた4年間を振り返り、日頃の教育研究等における取り組みを自己点検・評価報告書としてまとめ上げました。その内容をもとに大学基準協会の評価委員による書面審査及び本学神戸キャンパスでの実地調査を受審し、本学の特徴的な取り組みである「チーム医療」教育や学部横断的に取り組むボーダレスな教育環境及び地域貢献活動等に対して高い評価をいただきました。

その結果、2013年3月に大学基準協会より大学基準に適合していると認定する旨の通知〔認定期間は、2020年3月31日まで〕がありました。

本学は、大学創設期の第1ステージで医療総合大学として独自の教育理念・実施方法等の枠組みが完成したことに満足することなく、発展期への第2ステージでは本学の社会的認知度を高め、近畿圏の医療総合大学としてのポジショニングを確固たるものにするために、大学としての使命が実践できているかどうか継続的に自己点検・評価を重ねながら、更なる発展に向けて教職員一同鋭意邁進してまいります。

■リハビリテーション学部 土肥 信之教授 大学葬



平成24年12月22日、故 土肥 信之 リハビリテーション学部教授の大学葬がオクタホールにてしめやかに執り行われ、松田暉兵庫医療大学学長を葬儀委員長として、教職員・学生・卒業生を始め学内外から約300名が参列し、最後のお別れをしました。

大学葬は、祭壇の故人の御霊に参列者全員で黙祷を捧げたのち、リハビリテーション学部教員自作の映像にて故人の在りし日のお姿を偲びました。続いて、松田学長より告別の辞が述べられ、藤岡リハビリテーション学部長より功績が顕彰されました。

また、公益社団法人 日本リハビリテーション医学会代表として大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室教授 佐浦 隆一様、県立広島大学代表として学長補佐 堂本 時夫様、藤田保健衛生大学医療科学部代表として学部長 金田 嘉清様、一般社団法人 全国リハビリテーション学校協会代表として川崎医科大学リハビリテーション医学教室教授 橋原 彰夫様、教授会代表として兵庫医療大学リハビリテーション学部 川口教授より弔辞を拝受しました。

その後、弔電が披露され、葬儀委員長として松田学長、ご遺族代表として土肥 亜紀子様よりご挨拶があり、多くの方が故人の死を惜しむ中、参列者による献花が行われました。



■ 全学部学科同時初開催！1日体験入学イベント

春休み期間の3月27日に、一足早く兵庫医療大学生を体験できるイベントとして、高校新2・3年生を対象とした「1日体験入学」を実施しました。一昨年はリハビリテーション学部の理学療法学科のみ、昨年はリハビリテーション学部の理学療法学科と作業療法学科で行われましたが、今回は初めて3学部4学科の全学部学科で同時開催しました。

このイベントへの参加は、ホームページから事前にエントリーしていたが、応募多数の場合は抽選としておりましたが、そのほとんどの学科で応募数は定員を超える人気ぶりでした。

当日は、抽選で当選された高校生142名が参加し、午前中のオープニングガイダンス(全学部)と学部学科ごとに分かれて講義を受けた後、本学在学学生スタッフと教員も一緒になってレストランで昼食をとりました。午後からは実際に身体を動かしながらの実習を行い、普段なかなか出来ない講義形式とは異なった大学での実習や実験形態の授業を体験しました。

最後には体験入学修了証が一人一人に授与され、その後希望者はキャンパスツアーに参加し、在学生と実際の大学生活などを語りながらキャンパス内を見学して、1日の体験入学は終了しました。



薬学部【定員40名】

<講義>

- 1)「インフルエンザを詳しく知ろう！」
- 2)「くすりの飲み合わせて効果が変わる？」

<実験実習>

- 1)「染色体を見てみよう！」(毒科学)
- 2)「光る細胞の不思議 ～GFP・癌細胞・蛍光イメージング～」(生体防御学)
- 3)「“上戸”が“下戸”を予見する。」(臨床ゲノム薬理学)
- 4)「美白効果を確かめてみる！植物に含まれる成分、知っていますか？」(天然薬物学)
- 5)「汚染された水はどれだ!?汚染物質見える化試薬を作って使って探し出せ。」(分析化学)
- 6)「電気泳動で蛋白質を見てみよう！」(創薬化学)
- 7)「薬剤師の業務を体験してみよう。」(臨床薬理学)

午前の講義ではインフルエンザや薬について講義形式で受講していただきました。午後からの実験実習では白衣を着て、7つの研究室に分かれて様々な実験を体験しました。それぞれ少人数グループで、多くの在学生にもサポートしてもらいながら、興味深く実験を行っていました。



理学療法学科【定員40名】

<講義>

「スポーツ理学療法とは？」

<実習>

- 1)「スポーツ現場で使用する物理療法を体験しよう」
- 2)「自分で出来るコンディショニング」

女子サッカー日本代表のフィジオ(トレーナー)としてオリンピック参加経験のある、理学療法学科の川口教授が、理学療法の基礎からスポーツ理学療法についての講義を行いました。

「スポーツ現場で使用する物理療法を体験しよう」ではスポーツ現場でも使用される電気治療器を用いて、筋肉が柔らかくなることを体験。また、捻挫や打撲後の処置に効果的な微弱電流療法も行いました。「自分で出来るコンディショニング」ではストレッチの方法を学び、適切なストレッチにより立位体前屈が改善することなどを実感しました。実習では在校生も指導に加わり、自分たちが学んできたことを参加した高校生に伝えながらコミュニケーションを図っていました。実習の中で「理学療法っておもしろい」という感想も聞かれ、現在、膝や足首に悩みを抱えて通院中の高校生は、「実習で行ったストレッチにより膝の曲げ伸ばしが行いやすくなった」と喜んでいました。



看護学部【定員40名】

<講義>

- 1)「看護の役割・機能について」
- 2)「足浴、体温調整、脈拍測定方法を知ろう」

<実習>

「測定と分析を実際に行ってみよう」
全体ディスカッション

午前の講義では、看護の基本的なお話や、足浴、脈拍の測定方法などについて質疑応答を交えながら講義が行われました。

午後からは実習室に移動して、参加者には在学生と同じユニフォームを着用してもらい、在学生や教員に指導してもらいながら足浴や体温の計り方などを体験していただきました。

足浴に参加した高校生からは、「最初はただ足をお湯につけるだけだと思っていましたが、足浴には患者さんをリラックスさせてあげる効果があり、リラックスしてもらうためには、こまめにお湯の温度をチェックしたり、足に触れるときに安心してもらえるような気づかい、そしてコミュニケーションの重要性がよくわかりました」という感想が寄せられました。



作業療法学科【定員30名】

<講義・演習>

- 1)「言葉を使わないコミュニケーション術」
- 2)「日常動作を支援するお助けアイテム活用術」
- 3)「遊んで学べるこどもの発達」

講義と演習を織り交ぜながら、3つの授業を行いました。

身振りや仕草、顔の表情など非言語的手段によっても「会話」していることを体感し、豊かなコミュニケーションのあり方について学びました。また、白衣を着ている人とそうでない人とで受ける印象が異なることについて、実際に高校生に白衣を着てもらって体験してもらいました。

病気やけが等によって、日頃何気なく行っている動作ができなくなることや、それを体験してもらい、その日常動作を支援する便利な自助具を実際に使いながら、その活用法について学びました。

子どもの頃に夢になって遊んだいろいろな遊具と子どもの運動発達の関係について実際に遊具に触れながら体験しました。



■ 第9回兵庫医科大学病院 病診・病病連携の会開催

平成25年1月19日、伊丹シティホテルにて「第9回兵庫医科大学病院 病診・病病連携の会」が開催され、講演会と情報交換会が行われました。

講演会は「肝胆道疾患の診断と治療の最前線」をメインテーマとして、内科肝・胆・膵科の西口主任教授、齋藤・岩田両講師による講演が行われました。

前回までは、近隣7市1町の紹介元開業医の方を中心に院内で開催しておりましたが、今回は、阪神北圏域医療機関との連携強化を図る目的で、伊丹市全会員と宝塚市、川西市、三田市、猪名川町及び尼崎北部地域の紹介元医療機関に対象を絞り、院内外合わせて66名の方に出席いただき、盛会のうちに終了となりました。

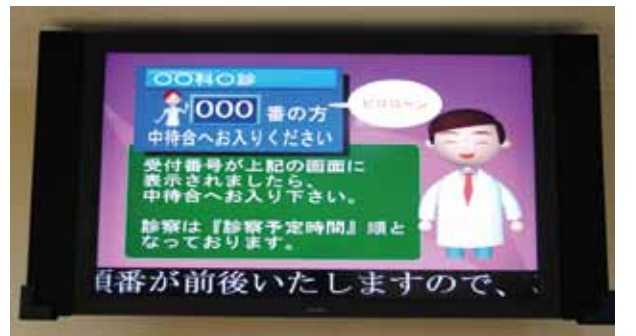


■ 電子カルテの導入について

平成25年2月25日より、電子カルテが導入されました。これに伴い、1号館1階の初診受付北側に『自動再来受付機』と『保険証確認コーナー』を新設し、再診予約のある患者さんの受付と、保険証の確認を行っています。また、各診療科には『呼出表示盤(モニター画面)』を設置し、患者さんの呼び出しを行っています。(一部の診療科を除く)



自動再来受付機と保険証確認コーナー



呼出表示盤

■ 第5回学校法人兵庫医科大学連携病院の会開催

平成25年3月15日、都ホテルニューアルカイクにおいて第5回学校法人兵庫医科大学連携病院の会が開催されました。

この連携病院の会は平成25年3月15日現在で123病院にご入会いただいております。

当日は会員病院から61名、学内者49名の合計110名の出席のもと盛況のうちに開催され、参議院議員(元厚生労働大臣政務官)梅村 聡氏より「近未来のわが国が抱える医療・介護の諸問題とその対策」の演題で講演いただきました。

梅村氏からは控除対象外消費税及びTPP交渉参加が今後の医療にどのような影響を及ぼすのか国政での最新情報を含めて報告がありました。

報告の中で、TPP交渉参加に伴い、今後国民皆保険制度を含め医療界が大きく激変する可能性のあること、また、病院の経営に直接影響することが予想されるため、国民皆保険制度の変革に先立ち、病院各団体が統一して行動すべきであるとの意見が述べられました。

講演の後、引き続き意見交換会が開催され、各病院間での活発な意見交換が行われ、お互いの連携を深めることができました。



参議院議員
(元厚生労働大臣政務官)
梅村 聡氏

■ 岩手県立高田病院での活動報告



整形外科 大井 雄紀

平成25年2月4日から8日まで岩手県立高田病院に被災地医療支援に行っていました。

診察内容は、被災地特有の外傷の後遺症が多いのかと思っていましたが、過疎地、医者不足の現状で、変性疾患の患者さんが大半でした。初日は整形外科の外来にリハビリの患者さんを除き、診察だけで79人の患者さんが来院され、ひたすら患者さんとお話させていただいた印象でした。

また、6畳一間のバストイレ共同の民宿から病院への通勤途中に、毎日被災地見学に連れて行っていただきました。東日本大震災より約2年が経過しましたが、以前の写真と比べ見る影もなく、まだまだ瓦礫撤去に追われている状況で、津波の残した爪痕の凄さを痛感致しました。

この度はいい経験をさせていただいたと思います。この場をお借りして、被災地支援に派遣して下さった方々にお礼申し上げます。



■ 兵庫医大フロンティア医療セミナー

第5回(平成24年12月17日開催)

整形外科の低侵襲手術

コーディネータ

整形外科 学内講師 橋俊哉

1. 小皮切による手外科手術

整形外科 教授 田中寿一

2. 内視鏡支援による骨腫瘍摘出術

整形外科 准教授 麩谷博之

3. チューブラーレトラクターを用いた脊椎手術

整形外科 学内講師 橋俊哉

4. 最新の下肢関節鏡手術

整形外科 助教 中山寛

第6回(平成25年1月21日開催)

チーム医療を担う当院のCNS・CN活動

コーディネータ

看護部 看護部長 山田明美

1. プレホスピタルにおける看護師の役割

CCU 副看護師長 救急看護認定看護師 千島佳也子

2. 当院におけるリンパ浮腫ケアへの取り組み

6階西病棟 副看護師長 がん性疼痛認定看護師 小牧よし子

3. スキンケア領域の看護の力をもっと活かすには

外来 看護主任 皮膚・排泄ケア認定看護師 國富幸江

4. 食べる楽しみを支えるチームアプローチ

10階東病棟 看護主任 摂食嚥下障害看護認定看護師 桑田一郎

5. 患者と併走する慢性看護

CCU 看護師長 慢性疾患看護専門看護師 藤井利江

第7回(平成25年2月18日開催)

皮膚疾患のトップ・マネジメント

コーディネータ

皮膚科 診療部長 山西清文

1. 薬疹

皮膚科 准教授 夏秋優

2. 乾癬における生物学的製剤による治療

皮膚科 学内講師 今井康友

3. 皮膚悪性腫瘍(1)非メラノーマ

皮膚科 講師 伊藤孝明

4. 皮膚悪性腫瘍(2)メラノーマ

皮膚科 学内講師 中川登

第8回(平成25年3月18日開催)

小児科診療の現状

コーディネータ

小児科 助教 前 寛

1. 発達障害を大学病院でいかに診るか

小児科 助教 下村 英毅

2. 小児腎移植

小児科 助教 高木 信明

3. 経口免疫療法

小児科 助教 福田 典子

4. 小児内分泌疾患

小児科 助教 高橋 千晶

5. 小児がんの現状について～診断から治療まで

小児科 講師 大塚 欣敏

6. NICUからのトピックス～母子合併疾患とNICUからの在宅医療

小児科 助教 皆川 京子

■ 地域連携・総合相談室長 就任挨拶



地域救急医療学 吉永 和正

平成25年1月1日より前任の山本 憲康教授に代わってささやま医療センター 地域連携・総合相談室長に就任しました。

新病院への移転によりオープンしたささやま医療センターは、丹波地域の中核病院として期待されており、まもなく開設より3年を迎えます。地域医療の充実に向けて職員一丸となって努力しているところですが、医療現場のニーズが多様化する中で地域連携・総合相談室の必要性はますます高くなっています。

その一方で、医師不足など、医療環境は決して恵まれているとは言えません。そのような状況下でもできるだけ地域の患者さんや医療機関との連携を円滑に行うことが私たちの使命と考えています。きめ細やかな対応により、院内と院外の連携を続けることで、地域の皆様にご不便、ご不自由をおかけしないように努めて参る所存です。

ご挨拶申し上げますとともに、引き続きのご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■ ささやま老人保健施設 新年会(餅つき大会)

1月12日に、毎年恒例のささやま老人保健施設新年会の餅つき大会を開催しました。

餅つきが行われている通所デイルームは、入所者の方々、ご家族、ボランティアの方々、教職員で賑わいを見せていました。また、舞台には、利用者の方の書かれた「新年会」の墨字が飾られています。この墨字を書いていた利用者の方は、入所時には手も動かないような状態でしたが、リハビリを繰り返し、新年を飾る文字が書けるまで回復されました。

餅つき大会は行事のムードメーカーのボランティアの方々の強いつぎと、皆さんの掛け声によって進められ、できあがったお餅は慣れた手つきで入所者さんたちの手によって次々と丸められていきました。

餅つきの後は、劇団「すんげっき」による寸劇、長楽寺の安達 瑞樹さんによる落語と続き大盛況で、事故もなく無事に終わりました。

今年は、良いお天気、良いお餅、そして良い笑いに恵まれ、良い一年の幕開けとなりました。



■ 病院情報システム障害対策訓練実施

3月6日、ささやま医療センターにて昨年末に策定した『医療情報システム障害時の事業継続計画』に基づき、病院情報システム障害対策訓練を実施しました。この訓練は、午前の診療中に電子カルテシステムがダウンし、復旧の見込みが立たない場合の診療を想定した訓練で、医師・看護職員・医療技術職員・事務職員など52名が参加しました。

訓練開始後、院内アナウンスを行い、初動連絡網による連絡体制を確認し、医師は模擬患者役の職員に問診した内容を手書きでカルテや伝票に記入して、各部署間で連携しながら診療を進めました。



ささやま老人保健施設 節分行事開催



2月6日に、ささやま老人保健施設にて節分の豆まきを行いました。

今年も職員が鬼に扮し、入所フロアの4階、3階、2階と通所の1階へと順番に回りました。利用者の皆さんは、丸めた新聞紙を豆に見立て、鬼に向かって元気よく投げつけ、今年の福を呼びこみました。

2月3日の節分当日には、いわし料理とちらし寿司で節分の料理を堪能していただきました。

この冬、例年に比べ篠山では雪が少なかったのですが、雪が積もった朝には、利用される皆さんの安全を確保するため、男性職員が正面玄関まわりの雪かきを行います。

この2月にも何度か雪かき隊が出動してくれました。



ささやま老人保健施設ひなまつり行事開催



3月6日にささやま老人保健施設において、ひなまつりの行事を行いました。

ささやま老人保健施設の入り口のロビーには7段のおひな様を飾っています。

篠山では、旧暦の4月3日までおひな様を飾ります。利用者さんは足を止め、おひな様を見つめて、一足先に春を感じておられます。

今年はささやま老人保健施設の美人職員からなる花笠ガールズが各入所のフロアや通所のデイルームに踊りを披露して回りました。

花笠ガールズが、最初に花笠音頭を利用者の皆さんの前で踊り始めると、音楽に合わせて一緒に手拍子をしてくださいました。次に、デカンショ音頭では、車椅子に座りながらも手だけは一

緒に踊ってくださる方もおられました。利用者の皆さんは踊りも終わり、おやつのひなあられと甘酒でひなまつりを堪能されました。

ひなまつりでひとときの春を感じましたが、まだまだ、寒さが残る篠山では、本当の春の訪れを待ち遠しく思います。



平成24年度第3回感染症及び医療安全管理に関する講習会開催



2月28日に篠山商工会館にて、平成24年度第3回感染症及び医療安全管理に関する講習会を開催し、教職員161名が受講しました。第1部の感染症に関する講習では、兵庫医科大学病院感染制御部 一木 薫 看護師長より、「やっぱり今年も！冬に多発する恒例のウイルス疾患～ノロウイルス、インフルエンザの院内感染対策～」をテーマに、冬季を中心に流行するインフルエンザ、ノロウイルスの予防対策及び感染拡大防止策について講演いただきました。第2部の医療安全管理に関する講習では、薬剤室 鈴木 寛 主任薬剤師より、「知って得する医薬品の取り扱い～更なる医療安全を目指して～」をテーマに講演いただき、安全意識の向上を共有しました。

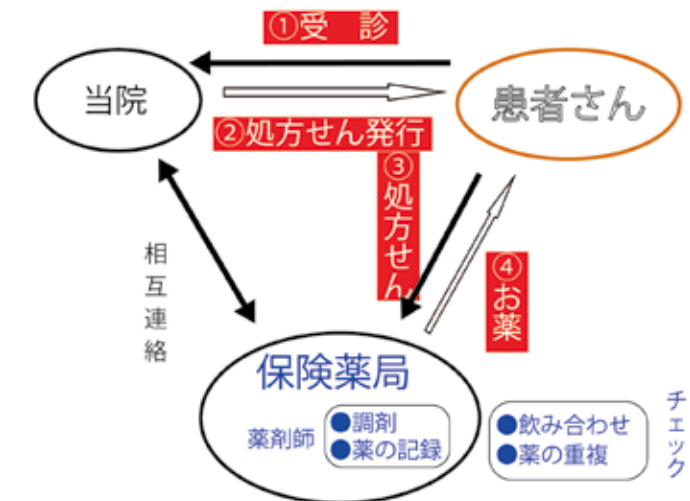


院外処方への移行について

ささやま医療センターは、開院以来院内処方を継続してきましたが、平成25年4月1日より、外来診療での投薬を「院外処方」に移行しました。移行に伴い、外来患者さんには、当院にてお渡しする「院外処方せん」をご希望の保険薬局にお持ちいただき、お薬を受け取って頂くように変更となりました。

「院外処方」にすることによって、薬の専門家である薬剤師から薬の説明や服薬指導を受けられ、「かかりつけ薬局」では、他の医療機関で処方された薬と当院で処方された薬との相互作用や飲み合わせについても説明を受けることができ、薬の安全性が一層確保されることになります。

ささやま医療センターの薬剤師は、入院患者さんの注射薬剤の調剤、服薬指導、治療薬剤の説明などに専念し、より良い医療を提供できるように取り組んでまいります。



多彩 “社交ダンスを愛する”多彩人

ささやま医療センター病院看護課外来部門の石田香奈さんは、5年前から社交ダンスを習い始め、その楽しさに魅了されているという。現在は、篠山市に依頼された舞台や、宝塚ホテルでダンスのデモンストレーションを行うなど、その成果を発表している。舞台を見かけた患者さんから声を掛けられることもあるのだとか。

社交ダンスの魅力について尋ねると、踊りによって女性らしさやしなやかさ、愛情や色香を表現でき、普段の自分ではない自分になれるところだという。短いダンスの中で自分なりにストーリーを創り、それを表現する。仕事や普段の自分との切替えがリフレッシュになり、モチベーションの維持にも繋がっているという。

もともとは石田さんの母親が社交ダンスを習っており、娘さんにも習わせようと思った際に、一方的にやらせるのではいけないと思い、自分も一緒に習い始めたのが社交ダンスを始めたきっかけだった。



それまでダンスの経験は一切なかったが、カンがよかったのか、初めから楽しく取り組めたといい、娘さんよりも社交ダンスの魅力にはまっていくのが早かったのだそう。今では娘さんと一緒に楽しんでレッスンに通い、共通の話題で盛り上げられるのが嬉しいと笑顔で話してくれた。

そんな娘さんの目標は石田さんのダンスで、手の動きや足の運びなども石田さんをお手本に練習に励んでいるとか。看護師という仕事にも憧れて、「将来はママのようになりたい！」と話しているという。母親から3代続いた社交ダンスで、将来みんなで踊れるのを石田さん自身も楽しみにしている。

伸び盛りの娘さんに負けないように、いつまでも若く美しく、目標のママでいられるよう、自分磨きも忘れずダンスも長く続けていきたいと意欲的に話してくれた。



ささやま医療センター
病院看護課外来部門
石田 香奈 さん



ダンスも楽しいけど、仕事も楽しいという石田さんは、仕事でも資格取得に励むなどONもOFFも充実している様子で、ダンスの話も仕事の話も楽しげに話してくれたのが印象的でした。

発表会にて(左から3番目)

さまざまな分野で才能を開花させている、極めて、アクティブに活動している“多彩人”の情報をお待ちしています。
自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。＜電話：0798-45-6655 メール：kouhou@hyo-med.ac.jp＞

平成25年度 学校法人兵庫医科大学 予算

財務部

平成25年度予算は、平成25年3月28日に開催された理事会において次のとおり決定されましたのでお知らせします。

1. 平成25年度予算編成にあたって

本法人の収支は、平成21年度以降「収入に見合う支出」(財政基盤改善3年計画)を基本的な考え方とする支出抑制策の実行、平成22・24年度の診療報酬改定の追い風による兵庫医科大学病院の収益増加、兵庫医療大学の全学部完成をうけ、順調に推移しています。

しかし、近年のささやま医療センター建築、西宮キャンパス病院情報システムの構築、急性医療総合センター建設等への大型施設・設備投資により保守費・減価償却額等の固定経費は大幅に増加しており、将来の既存施設・設備等の拡充・更新を展開するために、より一層の財務基盤の健全化が求められています。

このような状況のもと、平成25年度予算は限られた財源のなか法人が目指す全人的で有能有為な医療人育成と質の高い研究・診療を実践し、西宮キャンパス全体の長期再開発構想の嚆矢として新教育研究棟の設計着手にあたり、学校法人全体の持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保しつつ新たな活力とさらなる発展への礎となる予算編成を行いました。

2. 平成25年度消費収支予算の概要

帰属収入予算合計は49,044百万円で前年度予算比+2,042百万円、消費支出予算合計は47,555百万円で前年度予算比+2,864百万円を予算計上しています。その結果、平成25年度帰属収支差額予算は、1,488百万円を確保する予算としています。

収入について

- ・学生納付金： 兵庫医科大学と、兵庫医療大学の2大学4学部4大学院研究科合計で7,582百万円(前年度予算比+3百万円)を予算計上しています。
- ・寄 付 金： 兵庫医科大学開学40周年記念事業支援のための募金(2年目)、寄附講座、研究助成寄付金等により、合計1,070百万円を予算計上しています。
- ・補 助 金： 兵庫医療大学の薬学部完成に伴い経常費補助金の増加、教育研究装置施設整備費等補助金の採択を視野に入れ合計2,781百万円を予算計上しています(急性医療総合センター完工により耐震化整備事業補助金がなくなり、前年度予算比▲271百万円)。
- ・事業収入： 兵庫医科大学病院では、急性医療総合センターの稼働に伴い、入院単価・病床稼働率アップ等により31,894百万円の医療収入を見込んでいます(前年度予算比+2,071百万円)。また、ささやま医療センターでは、医療収入2,864百万円を見込んでいます(前年度予算比+174百万円)。法人全体では医療収入35,357百万円(前年度予算比+2,267百万円)、受託事業等の事業収入1,263百万円を予算計上しています。

支出について

- ・人 件 費： 急性医療総合センター稼働に向けたスタッフの計画的増員、処遇改善のための各種手当等の増額により、合計21,346百万円(前年度予算比+1,064百万円)を予算計上しています。
- ・教育研究経費： 兵庫医科大学で、戦略的研究基盤形成支援事業に係る経費、動物実験施設運営費、図書購入費、奨学費等を増額し、計2,161百万円を予算計上しています。兵庫医療大学では全学部完成後、さらなるステージへの飛躍のために、学部学生教育経費、奨学費、就職支援拡充費、国際交流関係費等を増額し、計1,323百万円を予算計上しています。
- ・医療経費： 物流センターを中心に経費抑制策を実行していますが、兵庫医科大学病院では急性医療総合センターの開設、電子カルテ等情報システムの導入に伴う保守・管理費の増加により、14,957百万円(前年度予算比+366百万円)を予算計上しています。また、ささやま医療センターでは医薬品SPDの導入、旧病院取壊し費用等の増加はありますが、院外処方の実施により薬品費が減少し、法人全体の医療経費としては16,216百万円(前年度予算比+134百万円)を予算計上しています。
- ・管理経費： 法人・大学・病院部門の運営にかかる経常的な管理経費に加え、中期的に不可避な既存設備・システムの保全計画策定経費、健診事業に係る立ち上げ準備費、中医薬孔子学院運営費、職員の人材育成関連費用、ＩＣカード導入関連費等に予算配分し合計1,494百万円を予算計上しています。
- ・減価償却額： 急性医療総合センターの完成に伴い建物・医療機器の減価償却額が増加し総額3,922百万円(前年度予算対比+593百万円)を予算計上しています。

- ・資産処分差額： 西宮キャンパス6号館取壊し、ナースコール装置更新、ささやまキャンパス旧病院の一部取壊し等に伴い資産処分差額合計406百万円(前年度予算比+326百万円)を予算計上しています。

3. 平成25年度施設・設備支出について

施設関係支出		(単位：百万円)	設備関係支出		(単位：百万円)
新教育研究棟設計監理費	3	9	兵庫医科大学の質量分析解析装置等大型機器	2	65
急性医療総合センター関連移転跡等工事	1,9	37	兵庫医科大学の教育研究設備等	2	23
8号館耐震等改修工事	4	82	急性医療総合センター関連機器	3	48
西宮キャンパス配管等施設更新改修工事	3	80	兵庫医科大学病院の一般設備等備品	3	15
兵庫医科大学病院ナースコール他改修工事	3	74	兵庫医科大学病院情報関連設備	2	84
兵庫医科大学病院情報ネットワークの更新	4	8	情報機器・事務系システム等の更新	1	06
ささやま医療センター看護師寮建築他工事	2	69	ささやま医療センターの医療設備	5	0
ささやま老人保健施設衛生施設等改修工事	2	1	ささやま老人保健施設の特殊浴槽の更新他	8	
兵庫医療大学非常用放送設備他工事	1	3	兵庫医療大学の教育研究設備等	2	4
合計		3,566	合計	1,627	

注 百万円未満については切捨て表示のため合計表示とは必ずしも一致しません

上記施設・設備関係支出の合計5,193百万円と借入金等返済支出2,080百万円、その他の支出(奨学貸付金他)357百万円を加えた資金支出の合計は50,879百万円となります。
この結果、平成25年度の資金収支の差額は1,733百万円の支出超過予算となっています。

平成25年度収支予算

消費収支予算					資金収支関連予算				
(単位：百万円)					(単位：百万円)				
収 入 の 部					収 入 の 部				
消費 収入	科 目	平成25年度	平成24年度	増減額	資 金 収 入	科 目	平成25年度	平成24年度	増減額
	学生納付金	7,582	7,578	3		学生納付金収入	7,582	7,578	3
	手数料	261	298	▲36		手数料収入	261	298	▲36
	寄付金	1,070	1,140	▲69		寄付金収入	1,022	1,095	▲72
	補助金	2,781	3,053	▲271		補助金収入	2,781	3,053	▲271
	資産運用収入	74	49	24		資産運用収入	74	49	24
	事業収入	36,620	34,376	2,244		事業収入	36,620	34,376	2,244
	雑収入	652	504	148		雑収入	652	504	148
	帰属収入 合計	49,044	47,001	2,042		借入金等収入	104	1,606	▲1,501
	基本金組入額	▲4,161	▲7,068	2,907		その他の収入	44	8	36
消費収入の部 合計					収入の部 合計				
支 出 の 部					支 出 の 部				
消費 支出	科 目	平成25年度	平成24年度	増減額	資 金 支 出	科 目	平成25年度	平成24年度	増減額
	人件費	21,346	20,281	1,064		人件費支出	21,397	20,347	1,049
	教育研究経費	3,616	3,800	▲184		教育研究経費支出	3,616	3,800	▲184
	医療経費	16,216	16,082	134		医療経費支出	16,216	16,082	134
	管理経費	1,494	617	877		管理経費支出	1,494	617	877
	減価償却額	3,922	3,329	593		借入金等利息支出	121	63	58
	借入金等利息	121	63	58		借入金等返済支出	2,080	1,615	465
	資産処分差額	406	80	326		施設関係支出	3,566	4,150	▲584
	徴収不能額	13	13	0		設備関係支出	1,627	4,669	▲3,041
	徴収不能引当金繰入額	15	15	0		その他の支出	357	358	0
	予備費	400	406	▲6		予備費	400	406	▲6
消費支出の部 合計					支出の部 合計				
帰属収支差額		1,488	2,310	▲821					
当年度消費収入超過額		▲2,672	▲4,758	2,086					
資金収支の差額		▲1,733	▲3,540	1,806					

注 百万円未満については切捨て表示のため合計表示とは必ずしも一致しません

平成25年度の主な取り組み

現在策定中の第2次中期事業計画における基本構想にのっとり、平成25年度事業計画を策定致しました。

■基本構想■

社会から信頼されチーム医療を実践できる医療人の育成とキャリア向上を生涯にわたりサポートする医療総合大学

【安定した経営ならびに持続的な発展を可能とする組織体制の構築によるガバナンスの強化】

- ①人材マネジメント：自ら誇りを持ち、やりがいを感じることができる組織・環境づくり
- ②経営管理・財務：法人全体が目指す姿に向けて協働する風土づくりと持続的な投資を可能とする安定した財務状況を作るための戦略的経営の実現
- ③情報共有・広報：学内外の各ステークホルダーに大学・病院の特徴、目指す姿、成果を十分周知し、共感してもらうための活動の強化

【学内者は誇りを持ち、学外者からは愛され選ばれる、特徴ある医療人育成と質の高い研究・診療の実践】

- ④教育：質の高い医療人を輩出するとともに、医療人がそれぞれのキャリアステージに合わせた教育を受け成長できる環境づくり
- ⑤研究：質が高く独創性のある研究成果の世界への発信と臨床応用を通じた革新的医療技術の創出
- ⑥診療：本院、ささやま各病院の担うべき役割をはたし、独自性を持った質の高い医療の提供

I. 事業計画

1. 兵庫医科大学

1) 教育・研究に関する事業

(1) 兵庫医科大学

- ①教育効果向上へのアクションプラン
- ②国際交流活動の活性化への取り組み
- ③教員に対するFDの更なる充実・強化
- ④開学40周年記念事業「グランドデザイン構想」を見据えた新しい図書館の在り方の検討
- ⑤世界基準に合致した医学教育認証受審にむけての教育改革

2) 診療に関する事業

(1) 兵庫医科大学病院

- ①急性医療総合センターの効率的運用による急性期医療体制の強化
- ②医療従事者の負担軽減の推進
- ③医療収入確保に向けた取り組み
- ④臨床研修についての制度改革
- ⑤診療情報管理体制の整備

(2) 兵庫医科大学ささやま医療センター

- ①安定した経営基盤の確立と医療収入の確保

(3) 兵庫医科大学ささやま老人保健施設

- ①「在宅復帰強化型」への移行と稼働率が常時両立できる施設運営体制の整備

2. 兵庫医療大学

1) 教育・研究に関する事業

- ①管理運営体制(ガバナンス)の整備と経営基盤の強化
- ②学部教育の充実による教育力向上と国家試験対策の強化等活力ある教育支援体制の確立
- ③さらなる受験者数獲得と高学力入学者確保のための戦略的広報
- ④優良な就職先の確保と卒業生フォローシステムの構築
- ⑤国際交流プログラムと国際活動体制の構築
- ⑥研究環境の整備と研究活動の活性化及び外部資金の獲得

3. 法人部門

1) 将来計画・経営安定化に関する事業

- ①学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院の運営
- ②兵庫医科大学開学40周年記念事業募金
- ③急性医療総合センターの稼働支援と調達システムの改革
- ④中期的に不可避な投資の“見える化”へ向けた、施設設備保全計画の策定
- ⑤中期的に不可避な投資の“見える化”へ向けた、情報システム更新計画の策定

2) 広報に関する事業

- ①戦略的広報に向けた取り組み

3) 人材育成に関する事業

- ①医療人育成におけるシミュレータ・シミュレーション教育
- ②認定看護師教育機関設置準備室運営

4) 働きやすい職場づくりに関する事業

- ①教職員の認識評価のためのモラールサーベイの実施とこれに関するデータ収集、分析
- ②男女共同参画推進によるキャリア形成支援
- ③看護師・助産師確保と離職防止

II. 施設整備・設備整備計画

1. 兵庫医科大学

- ①8号館耐震改修計画
- ②1号館の各種配管改修・更新工事
- ③8号館の各種配管改修・更新工事
- ④1号館高架水槽更新工事
- ⑤新教育研究棟新築工事における設計業務等
- ⑥急性医療総合センター建設計画に伴う1・8・10号館改修工事
- ⑦ささやま医療センター新看護師宿舍棟新築その他整備工事
- ⑧西宮キャンパスにおける医局整備等に関する将来計画案の策定(1・2・8・9号館)
- ⑨ナースコール主装置更新工事

理事・評議員の異動

平成25年4月1日付で理事・評議員の異動がありました。

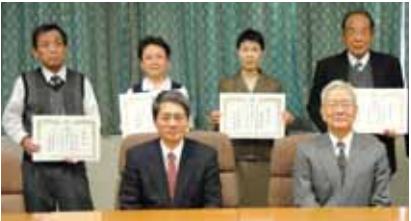
理事		
再任	理事長	新家 莊平
	副理事長	波田 壽一
	兵庫医科大学学長	中西 憲司
	細見医院院長	細見 基信
	弁護士	畑 守人
	兵庫県医師会会長	川島 龍一
新任	兵庫医療大学教授・副学長	末廣 謙
	兵庫医科大学教授・副学長・医学教育センター長	鈴木 敬一郎
選任事項変更	兵庫医療大学学長	馬場 明道
退任	兵庫医療大学学長	松田 暉
	兵庫医療大学副学長	佐藤 禮子

評議員		
再任	理事長	新家 莊平
	副理事長	波田 壽一
	兵庫医科大学学長	中西 憲司
	兵庫医科大学病院長	太城 力良
	兵庫医科大学教授・副学長・医学教育センター長	鈴木 敬一郎
	兵庫医科大学教授	野口 光一
	人材対策室長	山田 繁代
	兵庫医科大学教授・図書館長	谷澤 隆邦

評議員		
再任	事務局長	坂元 譲次
	兵庫医療大学教授・リハビリテーション学部長	藤岡 宏幸
	兵庫医療大学教授・看護学部長	竹田 千佐子
	社団法人西宮市医師会会長	菊池 英彰
	公益社団法人兵庫県看護協会会長	大森 綏子
	弁護士	畑 守人
	社団法人兵庫県理理学療法士会会長	梶平 司
	兵庫県医師会会長	川島 龍一
	兵庫県健康福祉部健康局長	野原 秀晃
	神戸市保健福祉局健康部長	宮本 一郎
新任	兵庫医療大学教授・副学長	前田 初男
	兵庫医療大学教授・薬学部長	西山 信好
	兵庫医療大学教授・副学長	末廣 謙
	兵庫医科大学教授・学生部長	島 正之
	社団法人兵庫県薬剤師会会長	赤松 路子
選任事項変更	兵庫医療大学学長	馬場 明道
退任	兵庫医療大学学長	松田 暉
	兵庫医療大学教授	東 純一
	社団法人兵庫県薬剤師会前会長	東 和夫
	兵庫医療大学副学長	佐藤 禮子
	兵庫医科大学教授	越久 仁敬

40年勤続表彰

平成24年12月27日に本法人所属の勤続40年の方々に対する表彰式が行われました。対象となった職員は6名で、新家理事長から開学より兵庫医科大学を支え続けた皆さんにお礼の言葉と共に、表彰状と記念品の置き時計が贈られました。



人事考課者研修の実施について

人事部



平成24年2月に、人事考課者の方を対象に、平成24年度期末考課に向けた人事考課者研修を計12回(<内訳>7回：神戸・西宮職員(看護職以外)対象、3回：西宮(看護職)対象、2回：篠山職員対象)実施しました。

研修の中では、目標管理制度を適切に活用し、効果的に部下マネジメントに役立てるポイントについての講義や、具体的な事例についての個人ワーク・グループワーク・講師の解説という一連の流れを通して、考課者一人一人の意識合わせを行いました。

特にグループワークでは活発に意見が交わされており、考課について考える良い機会となったようです。この研修で得たことを、3月から始まる期末面談・考課に活かして頂きたいと思います。

学校法人兵庫医科大学 懲戒処分について

- ・兵庫医科大学教員が、厚生省がん研究助成金の使用方法が不適切であったことから、減給処分を行った。(平成24年4月)
- ・兵庫医科大学病院助手が、医師法違反被疑事件にて送検されたことから、譴責処分を行った。(平成24年9月)
- ・兵庫医科大学病院研修医のささやま医療センターの職員寮における行為が、法令に違反し、信用を失墜させることから諭旨退職処分を行った。(平成25年3月)

以上

兵庫医科大学開学 4 0 周年記念事業募金状況報告

平成24年7月より開始いたしました「兵庫医科大学開学40周年記念事業募金」に対し、教職員をはじめ、名誉教授、後援会（保護者）、同窓会緑樹会、企業等法人、関連病院等幅広い方々から多額のご寄付を賜り、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

本法人といたしましては、ご寄付いただきました皆様方への感謝の意を表すためにご芳名を大学広報誌に掲載させていただいております。

皆様方からご寄付いただきました浄財につきましては、新教育研究棟の建設及び兵庫医科大学の教育研究等の充実のために利用させていただきます。

つきましては、これからも全力で大学の合理化等により、必要資金の確保に努めてまいる所存ではありますが、皆様方からより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（募金推進室）
H24.7.1～25.2.28

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	119件	506,930,000円	314件	235,030,000円	433件	741,960,000円
入 金	101件	430,740,000円	301件	101,786,885円	402件	532,526,885円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H24.12.1～25.2.28

〔企業等法人〕（30社）	
●企業名・金額記載 7社	
5,000,000円	株式会社 きんでん様
1,000,000円	株式会社 メイ・マネジメント様
1,000,000円	株式会社 光洋様
200,000円	株式会社 ケアコム様
150,000円	日本ビーマック株式会社大阪支店様
150,000円	テクノ菱和大阪支店様
100,000円	一般財団法人SHIIMA量子医学研究所様
●ご芳名のみ記載 18社	
株式会社東北オフィスマシンの	
三日月建設株式会社様の	
フジテック株式会社様の	
宮野医療器株式会社様の	
三菱電気ビルテクノサービス株式会社様の	
株式会社リリーフ様の	
株式会社マルタマフーズ様の	
日本管財株式会社様の	
株式会社 共英メソナ様の	
鹿島建設株式会社関西支店様の	
アルフレッサ メディカルサービス株式会社様の	
株式会社 朝日工業社様の	
アズビル株式会社様の	
日本通運株式会社 阪神支店様の	
グラクソ・スミスクライン株式会社様の	
有限会社 ウラヤマ様の	
鳥居薬品株式会社神戸支店様の	
小野薬品工業株式会社様の	
（匿名 5社）	

〔同窓会緑樹会〕（6名）	
●ご芳名・金額記載 2名	
1,000,000円	虎谷 圭似子様 100,000円 片山 覚様
●ご芳名のみ記載 3名	
久門 正義様 伊藤 恵子様 依藤 良一様 （匿名 1名）	

〔その他個人〕（1名）	
●ご芳名のみ記載 1名	
寺田 文代様	

〔名誉教授〕（7名）	
●ご芳名・金額記載 3名	
300,000円	窪田 彬様
200,000円	山村 武平様
50,000円	原 宏様
●ご芳名のみ記載 4名	
松永 一郎様	
岡本 英三様	
立石 博臣様	
森村 安史様	

〔教職員〕（44名）	
●ご芳名・金額記載 12名	
2,000,000円	福田 能啓様
700,000円	佐藤 禮子様
500,000円	浦出 雅裕様
500,000円	田中 寿一様
500,000円	竹田 千佐子様
300,000円	甲斐 義啓様
300,000円	古川 信衛様
150,000円	三野 幸治様
150,000円	寺田 友紀様
150,000円	渡部 剛士様
150,000円	島田 稔也様
150,000円	春本 敏弘様
●ご芳名のみ記載 21名	
中島 貴子様	
早川 徹様	
柳谷 浩以様	
有田 憲生様	
谷 和彦様	
都築 建三様	
中村 高志様	
北江 正幸様	
藤本 律子様	
阿部 祥子様	
永井 大樹様	
大谷 佐知様	
寺田 信行様	
木下 直子様	
畑 多美子様	
山田 千春様	
宮下 維文様	
山本 悟史様	
村岡 良和様	
日高 正巳様	
藤田 幸久様	
（匿名 11名）	

〔関連病院等〕（19法人）	
●関連病院名・金額記載 5社	
1,000,000円	医療法人翠生会 松本病院様
1,000,000円	財団法人仁明会様
1,000,000円	とくなが病院様
700,000円	岩崎クリニック様
500,000円	医療法人尽生会 聖和病院様
●ご芳名のみ記載 13社	
医療法人社団 紀洋会様	
医療法人耳鼻咽喉科 安野医院様	
医療法人社団甲友会様	
医療法人社団仁恵会 石井病院様	
済生会兵庫県病院様	
医療法人社団 慧誠会様	
医療法人社団平生会 宮本クリニック様	
医療法人昭圭会様	
財団法人大阪労働衛生センター第一病院様	
医療法人 恵生会様	
医療法人社団 黒田クリニック様	
社団法人日本海員救済会神戸救済会病院様	
医療法人樹光会 大村病院様	
（匿名 1法人）	

4 0 周年記念事業募金へのご寄付に際して



感謝状贈呈（左：寺田様 右：中西学長）

この度、本学病院整形外科に通院されておられました寺田様より、40周年記念事業募金に多額のご寄付を賜りました。

寺田様は経営されていた会社を閉鎖する決断をされるなど、心身ともにお疲れになっていた影響から、これまで大きな病氣や怪我がなかったにも関わらず、膝を痛められ歩くことも困難な状態でいらっしやいました。お近くの病院に通われても経過が思わしくなかった中、お知り合いの紹介で兵庫医科大学病院の整形外科で治療を受けられ、杖なしでも歩ける状態まで快復されました。

当初は大きな病院にかかる不安がありましたが、通院を助けてくださったお知り合いや、整形外科の先生から頂いた「必ず治ります

から」という力強い励まし、また整形外科スタッフの温かい言葉にとっても勇気づけられたとのことで、その感謝の気持ちとして本学への寄付を決められたとのことでした。

ご寄付を決められた日が、偶然にも本学の開学40周年記念式典が開催された11月22日であったこともあり、「不思議な縁を感じます」と仰られ、これからを元気で過ごすためにも、「兵庫医科大学病院とのご縁ができて安心です」との温かいお言葉を頂きました。

学校法人兵庫医科大学基金 状況報告

本学校法人は、平成21年4月1日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

（募金推進室）H21.1.1～25.2.28

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	218件	40,955,000円	462件	28,732,498円	680件	69,687,498円
入 金	217件	39,955,000円	455件	28,472,498円	672件	68,427,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H24.12.1～25.2.28

〔企業等法人〕（9法人）	
●企業名・金額記載 1社	
50,000円	株式会社三晃空調様
●ご芳名のみ記載 8社	
くろみ薬局 武庫川店様	和研薬株式会社様
成光株式会社様	株式会社イー・ジス様
株式会社日経サービス様	フジテック株式会社近畿統括本部様
阪神消毒サービス様	八洲薬品株式会社様

〔教職員〕（6名）	
●ご芳名・金額記載 3名	
50,000円	新家 莊平様
50,000円	山田 繁代様
50,000円	森田 峰広様
●ご芳名のみ記載 3名	
難波 光義様	
太田 邦廣様	
北村 威士様	

〔名誉教授〕（1名）	
●ご芳名・金額記載 1名 50,000円 森村 安史様	

〔その他個人〕（54名）	
●ご芳名・金額記載 13名	
150,000円	藤原 實様
100,000円	中井 久夫様
50,000円	岸本 清則様
50,000円	岸上 涼子様
50,000円	佐竹 圭様
50,000円	福光 美草様
50,000円	野村 花子様
50,000円	久我 一郎様
50,000円	後藤 佳子様
10,000円	岸本 みどり様
10,000円	佐竹 多喜子様
10,000円	中嶋 二三代様
10,000円	山地 宣子様
●ご芳名のみ記載 15名	
利倉 一晴様	田中 米治様
利倉 敬子様	小林 清枝様
井上 整徳様	土橋 昌子様
倉橋 裕様	松本 博様
倉橋 妃佐子様	松本 ふくゑ様
酒井 京子様	
安村 勝枝様	
岡村 洋子様	
後藤 實様	
三谷 辰朗様	
（匿名 26名）	

報道機関への出演・掲載

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています！

兵庫医大 広報 テレビ放送

検索

兵庫医大 広報 新聞掲載

検索

テレビ・ラジオ放送情報一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/public/tvinfo.html>

新聞等掲載記事一覧 <http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/public/newspaper.html>

微小粒子状物質(PM2.5)に関するニュースにて、兵庫医科大学公衆衛生学 島正之教授が新聞やテレビにて多数出演されました。

<テレビ・ラジオ出演>

NHK総合 「ニュースウォッチ9」「おはよう関西」「週刊ニュース深読み」、関西テレビ 「スーパーニュースアンカー」、サンテレビ 「NEWS PORT」、読売テレビ 「news every」、毎日放送 「VOICE」「みのもんたの朝ズバッ!」、日本テレビ 「ウエークアップ! ぶらす」、テレビ朝日 「ワイド!スクランブル」、テレビ大阪 「ニュースBiz」、NHKラジオ第1 「NHKジャーナル」、MBSラジオ 「ノムラでノムラだ♪」

<新聞・雑誌掲載>

読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、神戸新聞、東京新聞、北陸中日新聞、河北新聞、スポーツ報知、サンデー毎日、女性自身 など

テレビ・ラジオ出演情報

12月から3月

放送局	番組	掲載日	関係者	概要
毎日放送	「VOICE」	12月19日	小児科 服部 益治 教授	『冬こそ気をつけたい「冬脱水」』のテーマで、冬の脱水に関する注意点や対策などお話しされた内容が放送された。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	1月11日	小児科 服部 益治 教授	コメントにて出演し、『薬の飲み合わせ』のテーマで、薬服用時に一緒に食べてはいけない食物や、医師や薬剤師に相談せずに勝手に薬と他院の薬やサプリメントを使用する危険性を解説された内容が放送された。
朝日放送 (テレビ朝日)	「みんなの家庭の医学」	1月15日	循環器内科 増山 理 主任教授	血管を若返らせる物質やその物質を増加させる方法などについてスタジオで解説した様子が放送された。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	1月18日	小児科 服部 益治 教授	スタジオに生出演し、『今年のインフルエンザ流行』について解説した模様が放送された。
NHK総合	ニュース	1月22日	小児科 服部 益治 教授	インフルエンザなどの感染症が流行する中、感染症による脱水を予防するためのイベントが東京のショッピングセンターの一角で開催され、服部教授がイベントでコメントしている様子などが放送された。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	2月5日	小児科 服部 益治 教授	インフルエンザ対策に効果的な手洗い・うがい方法について解説した様子が放映された。
ラジオ NIKKEI 第1	「井出口直子の薬剤師Go!」	2月27日	薬剤部 木村 健 薬剤部長	「病院薬剤師のキャリア形成とスペシャリストの仕事」というテーマでお話しされた内容が放送された。
読売テレビ	「ミヤネ屋」	3月19日	兵庫医科大学病院 健診センター	人間ドックを特集したコーナーで兵庫医科大学病院の健診センターが紹介された。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	3月22日	小児科 服部 益治 教授	『風疹、成人で大流行』をテーマに生放送のスタジオにて解説した様子が放映された。
読売テレビ	「サンデードクター」	3月31日	下部消化管科 中村 志郎 教授	『過敏性腸症候群』について解説した様子が放映された。

新聞・雑誌等 掲載情報

12月から3月

掲載媒体	掲載日	関係者	概要
神戸新聞(朝刊)	12月3日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 野崎 園子 教授	野崎教授プロデュースによる嚥下障害などの方にもおいしい料理を楽しんでいただくための催しとして、神戸ポートピアホテルにて開かれる『やわらかフランス料理で家族と楽しむクリスマス』の案内が掲載された。
毎日新聞(朝刊)	12月4日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 松井 徳造 教授	『キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座』コーナーにおいて、『心と体、両方に病気』との題にて寄稿した記事が掲載された。
朝日ファミリー	12月7日	循環器内科 藤井 健一 講師	『医力伝心』のコーナーにおいて、『薬でも血圧が下がらない「難治性高血圧」の治療』と題して、手術での高血圧治療について解説した内容が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	12月8日	ささやま医療センター リハビリテーション科 内山 侑紀 助教 言語聴覚士 福岡 達之 さん	ささやま医療センターにて、誤嚥性肺炎について介護者を対象にした講演会が開催され、講演会の様子や、内山助教・福岡さんのコメントなどが掲載された。
毎日新聞(朝刊)	12月11日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 伊藤 斉子 准教授	『キャンパス通信ボーアイ4大学連携講座』コーナーにおいて、『高齢者の健康増進』との題にて、寄稿した記事が掲載された。
毎日新聞(朝刊)	12月18日	兵庫医療大学 馬場 明道 副学長	松田暉学長の任期満了に伴い、馬場明道副学長が平成25年4月1日より新学長に就任することについて掲載された。
神戸新聞(朝刊)			
産経新聞(朝刊)			
朝日新聞(朝刊)			
読売新聞(朝刊)	12月19日		

掲載媒体	掲載日	関係者	概要
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	12月26日	循環器内科 増山 理 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、増山教授監修による「むくみ」についての症状やケアについての記事が掲載された。
読売新聞(朝刊)	1月6日	小児科 服部 益治 教授	「記者から」のコーナーにて、冬の脱水について症状や予防方法などについてコメントした内容が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	1月7日	兵庫医科大学	環境省が実施する「子どもの健康と環境」との関連を調査する「エコチル調査」について、兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンターが運営協議会を実施し、調査の中でアレルギー物質の抗体調査の結果について報告された内容などが掲載された。
朝日新聞(朝刊)	1月13日	兵庫医科大学 遺伝学 振津かつみ 非常勤講師	「核のない未来賞」を受賞し、大阪にて祝賀会が開催され、これまでの活動やこれらについてコメントされた内容が掲載された。
毎日新聞(朝刊)	1月14日	小児科 服部 益治 教授	冬の脱水について症状や危険性について解説した内容が掲載された。
読売新聞 関東版 (朝刊)	1月14日	小児科 服部 益治 教授	夏場と同様に冬でも脱水症状が起こりやすく、注意が必要であることについて症状や対応などについて解説した内容が掲載された。
サンケイリビング誌	1月26日	兵庫医科大学病院	平成25年4月にオープンする兵庫医科大学病院急性医療総合センターの紹介記事が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	1月26日	ペインクリニック部 村川 和重 主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにて村川主任教授が担当した患者さんの治療実例が紹介され、脊髄電気刺激療法について治療の内容やコメントなどが紹介された。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	1月26日	総合診療科 立花 久大 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、立花教授監修による「日常の気になる症状セルフケア 冷え」と題された記事が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	1月28日	救命救急センター 久保山 一敏 副センター長	災害や大規模事故などで多くの負傷者が発生した際に、治療の優先度を判定する「トリアージ」について、救急医らの研究班が意識調査をした結果が掲載され、調査を実施した副センター長のコメントなどが掲載された。
朝日新聞(夕刊)	2月6日	兵庫医科大学 寺嶋真理子助教 小谷 穰治 主任教授	急性呼吸窮迫症候群(ARDS)の予防法について研究した内容が掲載され、研究主任の小谷教授のコメントなどが紹介された。
神戸新聞(朝刊)	2月14日	兵庫医科大学 中西 憲司 学長	学長再任(平成25年4月1日から任期3年)についての記事が掲載された。
読売新聞(朝刊)			
産経新聞(朝刊)			
読売新聞(朝刊)	2月15日	皮膚科 夏秋 優 准教授	マダニを媒介として感染するウイルスについての記事中で、マダニとイエダニについてコメントした内容が掲載された。
朝日新聞(朝刊)	2月17日	兵庫医科大学病院 急性医療総合センター	2013年2月16日に開催された兵庫医科大学病院急性医療総合センター竣工記念式典の様子が掲載され、急性医療総合センターの設備やフロア構成などを紹介する記事が掲載された。
神戸新聞(朝刊)			
神戸新聞(朝刊)	2月17日	小児科 前 寛 助教	学校給食と食物アレルギーについての記事内で、食物アレルギーについてや対応方法などについて解説した内容が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	2月22日	兵庫医科大学病院	妊婦の血液で胎児の染色体異常をしらべる新しい出生前診断について、兵庫医科大学の倫理委員会にて、日本産科婦人科学会が3月に公表予定の指針に従うことを条件として本検査を臨床研究として実施することが承認されたことが掲載された。
朝日新聞出版「手術数でわかるいい病院2013」	2月27日	耳鼻咽喉科 三代 康雄 教授	2011年1～12月の兵庫医科大学病院の各科データが掲載された。また、鼓室形成術(耳の手術)の項目にて、三代康雄教授の解説が掲載された。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	2月28日	総合診療科 立花 久大 主任教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、教授監修による「日常の気になる症状セルフケア 疲労」と題された記事が掲載された。
読売新聞(朝刊)	3月4日	血液内科 小川 啓恭 主任教授	3月3日に開催された「第6回ひょうごがんシンポジウム」にて血液がんの治療などについて解説し、その様子が紹介された。
夕刊フジ	3月12日	小児科 服部 益治 教授	冬場にも起こる脱水の症状や予防法などについて解説した内容が掲載された。
神戸新聞(朝刊)	3月16日	歯科口腔外科 岸本 裕充 准教授	インプラントの治療法を選ぶポイントや術後の注意点などについて解説した内容が掲載された。
日経新聞(夕刊)	3月25日	兵庫医科大学	大学で連携して再生医療や難病の研究を実施することを報じた記事にて、兵庫医科大学や大阪市立大学が2013年にも軟骨を再生する臨床研究を始めることが掲載された。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	3月27日	精神科神経科 山田 恒 助教	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、山田教授が監修を行った「日常の気になる症状セルフケア 強い眠気」と題された記事が掲載された。
読売新聞(朝刊)	3月28日	山村 武平 名誉教授 血液内科 小川 啓恭 主任教授	3月3日に開催された「第6回ひょうごがんシンポジウム」の特集記事にて、小川主任教授が血液がんの治療などについて解説した内容や、山村名誉教授のごあいさつの内容などが掲載された。
日経新聞(夕刊)	3月29日	血液内科 池亀 和博 講師	急性骨髄性白血病の治療法にて細胞移植のミニ移植について、池亀講師が解説した内容が掲載された。

教職員の皆さんへ

広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載許諾があった場合は総務企画部広報課へご連絡ください。

■ 規程等の制定・改正・廃止（規程等の全文は学内ネットに掲載）

No.	項 目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	学校法人兵庫医科大学心の健康問題による職員の短時間勤務取扱規程	心の健康問題により就業上、短時間勤務の配慮が必要であると復職委員会が認めた場合の服務に関する規律と処遇に関する基準及びその他必要な事項を定めるため、制定。	平成23年9月20日
2	職員表彰規程	兵庫医科大学開学40周年を迎えたことから、勤続40年の方を永年勤続表彰することとするため、改正。	平成24年11月1日
3	慶弔見舞金規程	兵庫医科大学開学40周年を迎えたことから共済組合において、40年表彰及び35年表彰を追加するため、改正。	平成24年11月1日
4	学校法人兵庫医科大学寄附行為	平成25年4月より兵庫医療大学大学院薬学研究科を開設するにあたり、改正。	平成24年11月8日
5	学校法人兵庫医科大学固定資産及び物品調達規程	平成20年8月1日物流センター開設に伴い、附則等での経過処理で対応していたが、現状に即した規程とするため、制定。	平成24年12月4日
6	職員等の室料の取扱要領	1号館4人室に対する室料差額の設定に伴い、職員等の室料差額について設定する必要があるため、改正。	平成24年12月18日
7	学校法人兵庫医科大学短時間勤務正職員取扱規程	短時間勤務がよりしやすいように勤務設定の自由度を高めるため、改正。	平成25年4月1日
8	学校法人兵庫医科大学病院助手短時間勤務取扱規程	年齢的にもっとも短時間勤務が必要となる病院助手に対して、短時間正職員と同様の制度を新設するため、制定。	平成25年4月1日
9	学校法人兵庫医科大学名誉称号規程	兵庫医療大学の名誉学長及び名誉教授の称号授与基準などを定めるため、改正。	平成25年1月31日
10	学校法人兵庫医科大学再雇用規程	高年齢雇用安定法の改正に伴い、改正。	平成25年1月31日
11	学校法人兵庫医科大学任期制教員就業規則	改正労働契約法施行に伴い、就業上遵守すべき規律及び労働条件に関する具体的細目を明確にすべく、制定。	平成25年4月1日
12	学校法人兵庫医科大学臨床研修医就業規則	同上	平成25年4月1日
13	学校法人兵庫医科大学病院助手就業規則	同上	平成25年4月1日
14	学校法人兵庫医科大学レジデント就業規則	同上	平成25年4月1日
15	学校法人兵庫医科大学医療技術系レジデント就業規則	同上	平成25年4月1日
16	学校法人兵庫医科大学非常勤講師就業規則	同上	平成25年4月1日
17	感染対策委員会規程	委員の出席率を向上及び院内感染対策を周知させるため、改正。	平成25年1月4日
18	非常勤医師取扱内規	医療監視において、非常勤医師について医療安全、感染対策等にかかる講習を受講する必要があること、健康診断を受診する必要があることなどの指摘があったことなどから、改正。	平成25年1月4日
19	病院における諸記録の閲覧に関する内規	平成24年度医療法第25条第3項の規定に基づく立入検査の際に指摘を受けた点を改善するため、制定。	平成25年1月4日
20	兵庫医科大学病院院内がん登録に関する規程	「地域がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式 登録項目と定義」に基づく登録内容の明確化及び文言を修正するため、改正。	平成25年1月10日
21	医療安全管理委員会規程	医療機器の安全管理体制の再構築並びに推進を図ることを目的として、改正。	平成25年2月28日
22	医療安全管理部運用内規	同上	平成25年2月28日
23	新健診センター整備検討室設置規程	新健診センターの設置の必要性の調査、検討を行うため、制定。	平成25年3月1日
24	急性医療総合センター会議規程	急性医療総合センターを開設するにあたり、施設内の各センター間の連携を深め円滑な運営を行うことを目的として急性医療総合センター会議を設置するため、制定。	平成25年3月5日
25	周産期センター運営委員会規程	周産期センターの円滑な運営を図ることを目的として周産期センター運営委員会を設置するため、制定。	平成25年3月5日
26	NICU運営小委員会規程	周産期センター運営委員会規程改正に伴い、廃止。	平成25年3月5日

No.	項 目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
27	集中治療部門運営委員会規程	急性医療総合センター運営開始に伴い部門を再編し名称をセンターとし、構成員を見直すため、改正。	平成25年3月5日
28	CCU運営小委員会規程	集中治療部門運営委員会規程改正に伴い、廃止。	平成25年3月5日
29	薬剤師レジデント取扱内規	労働契約法の改正による学校法人兵庫医科大学医療技術系レジデント就業規則の制定に伴い、本内規から就業等に係る条文を削除するため、改正。	平成25年3月21日
30	理学療法士及び作業療法士レジデント取扱内規	同上	平成25年3月21日
31	部門長設置規程	部門長は、具体的な権限をもって企画・調整機能を発揮する必要があるため、職位、役割等を規定化するため、制定。	平成25年4月1日
32	医療チームに関する規程	各分野においてチーム医療をより一層推進していく上で、医療チームの申請件数が増加することに対応すべく設置されている医療チームを別表に定めるため、改正。	平成25年4月1日
33	歯科レジデント取扱内規	労働契約法の改正による学校法人兵庫医科大学歯科レジデント就業規則の制定に伴い、本内規から就業等に係る条文を削除するため、改正。	平成25年4月1日
34	レジデント取扱内規	労働契約法の改正による学校法人兵庫医科大学レジデント就業規則の制定に伴い、本内規から就業等に係る条文を削除するため、改正。	平成25年4月1日
35	病院規程	中央診療施設に「生殖医療センター」を追加したため、改正。	平成25年4月1日
36	病院助手取扱内規	労働契約法が改正され、学校法人兵庫医科大学病院助手就業規則の制定に伴い、本内規から就業等に係る条文を削除するため、改正。	平成25年4月1日
37	兵庫医科大学病院臨床研修医規程	労働契約法の改正による学校法人兵庫医科大学臨床研修医就業規則の制定に伴い、本規程から就業に係る条文を削除するため、改正。	平成25年4月1日
38	兵庫医科大学病院臨床研修歯科医規程	労働契約法の改正による学校法人兵庫医科大学臨床研修歯科医就業規則の制定に伴い、本規程から就業等に係る条文を削除するため、改正。	平成25年4月1日
39	兵庫医療大学入学生・在学生特別奨学金規程	兵庫医療大学入学生・在学生特別奨学金は、失格事項に該当し、返還免除事項に該当しない場合は返還すること及び返還方法について明記されていないため、改正。	平成24年11月16日
40	兵庫医療大学大学院研究科長選考規程	兵庫医療大学大学院看護学研究科及び医療科学研究科の研究科長の任期満了と薬学研究科設置にあたり、制定。	平成24年12月18日
41	入学試験及び課程を経ない者の学位申請に係る外国語試験に対する手当支給に関する内規	兵庫医療大学の入学試験での試験監督者の手当については、該当がないため、改正。	平成25年1月1日
42	兵庫医療大学教育委員会規程	第2条第4号の「兵庫医科大学医学・医療教育研修センター」の名称及び委員を教授から教員に変更するため、改正。	平成25年3月19日
43	兵庫医療大学講義室等の貸与に関する規程	実習室の貸与料金設定に伴い、改正。	平成25年4月1日
44	兵庫医療大学における任期を定めて採用する教員に関する規程	改正労働契約法施行に伴い、就業上遵守すべき労働条件、規律及び労働条件に関する具体的細目を明確にすべく、改正。	平成25年4月1日
45	兵庫医療大学寄附講座規程	同上	平成25年4月1日
46	兵庫医療大学研究員取扱規程	同上	平成25年4月1日
47	兵庫医療大学研究支援者取扱規程	同上	平成25年4月1日
48	兵庫医療大学特任教員規程	同上	平成25年4月1日
49	兵庫医療大学特別招聘教授に関する規程	同上	平成25年4月1日
50	兵庫医療大学非常勤講師に関する規程	同上	平成25年4月1日
51	兵庫医療大学名誉教授推薦に関する内規	名誉教授の推薦に関する手続きを定めるため、制定。	平成25年4月1日

■学校法人兵庫医科大学 ■兵庫医科大学病院 ■兵庫医療大学